静岡県文化施設指定管理業務に関する外部評価委員会の概要及び評価結果（年度評価）

令和８年 10 月
静岡県スポーツ・文化観光部文化政策課

１　施設名及び指定管理者名

静岡県舞台芸術公園　　公益財団法人静岡県舞台芸術センター

２　指定期間

令和４年４月１日～令和９年３月 31 日（５年間）

３　指定管理業務評価の流れ

（１）令和７年度の指定管理業務について、指定管理者が提案内容をどの程度実施したかを明確にするため、指定管理者による自己評価を行った。

（２）県では、自己評価と事業実績の内容確認を行うとともに、必要な事項について指定管理者へのヒアリングを行い、県としての評価を行った。

（３）自己評価と県評価の内容を客観的に評価して、今後の指定管理業務の改善につなげるため、外部委員からなる評価委員会を開催し、指定管理者及び県へのヒアリングをもとに評価を行った。（開催日　令和８年８月 28 日）

【外部委員】

氏　名	職　名
岩﨑 邦彦	静岡県立大学　経営情報学部　教授
梶田 美於	梶田美於バレエスタジオ　代表
小島 孝仁	株式会社ＣＳＡ不動産　代表取締役社長
永井 聡子	静岡文化芸術大学　文化政策学部　教授
山本 雅弘	株式会社東平商会　代表取締役

４　評価結果

（１）外部委員による評価

ア　総合評価（５段階評価）

令和７年度実績は、評価点「４．１」、「よく実施した」と判断した。

【評価点】

１．０～１．４	１．５～２．４	２．５～３．４	３．５～４．４	４．５～５．０
実施しなかった	不充分な実施だった	概ね実施した	よく実施した	大変よく実施した

イ　評価に関する意見

○　効果的な維持・管理が行われている。今後も、舞台芸術を核としつつ、新たな公園の魅力や価値を創出し、積極的に発信・実現することで、県民に親しまれ、愛される空間へと発展してほしい。

　利用者アンケートの回答率が低いため、利用者の声、評価を積極的に収集し、公園の質的向上に努めてほしい。

　日本平の立地は観光的なポテンシャルが大きい。例えば、演劇と観光の融合などでも活用、創造できないか。現状のモニターツアーを定番化、継続化できるといい。

○　前回から改善されている点も多いが、まだまだ舞台芸術公園の魅力を知ってもらえている人に偏りがあるような気がする。より幅広い世代、環境の人に認知してもらえるような企画・運営に期待している。

○　舞台芸術公園への愛情はとても感じている。特殊な世界にいるからこそ見えている世界があると同時に盲目になってしまうことがあると思う。自己評価が一つを除いて５点というのはその表れではないか？残念だが私のまわりでの認知は広がっていない。素晴らしい公園だからこそ、現時点で舞台芸術に関心を持っていない業界にアプローチし、潜在的なファンの掘り起こしを期待している。

○　質の高い事業を継続していくためにも、現場を支えるスタッフや俳優の活動環境の向上、およびスキルアップに繋がる研修等の充実に引き続き注力されたい。また、これまでの実績で培われた高い専門性を活かしたプログラムが、より多くの市民の皆様に認知され、日常に浸透していく展開を強く期待する。

（２）県評価の概要

ア　総評

（公財）静岡県舞台芸術センターは、指定管理業務を適正に実施したものと認められる。

イ　概要（提案項目別評価）

（ア）効果的・効率的な管理

ａ 再委託業務経費の軽減化

・入札による競争性の確保及び複数年契約の導入と、効率的な園地管理の実施、ボランティア等との連携により、委託費の抑制につなげている。

ｂ 施設の利便性・快適性の向上とＰＲ

・ＳＮＳでは催事情報や舞台芸術公園の日常的な様子を掲載するほか、様々な機能を用いて新鮮な情報発信に努めており、多様なＰＲを積極的に行なっている。

・演劇ミニミュージアムの運営、ナイトイベントの開催など、新しい公園の魅力の創造と発信にも努め、来園者が無料で利用できる音声ガイドシステム「おともたび」を実装して県民の来園を促進すると共に、来園者の利用につなげている。認知度向上のため、多分野と連携したＰＲの強化に期待したい。

（イ）公園の特性や課題の認識及び県との協調連携

ａ 交通の利便性の確保

・利用者が増加する公演時に、関係者と連携して送迎バスの手配や駐車場の確保を行うほか、観劇者用駐車場の確保・誘導により利用者の利便性に配慮するなど、満足度向上につなげている。

ｂ 県との協調・連携

・県が推進するナイトタイムイベントの実施やインバウンド向けモニターツアーの実施等、県施策と連携した取組を行った。また、県とは日常的に連絡を取り合い、適切な施設管理を行っている。

(ウ)維持管理

ａ 維持管理計画

・年間計画に基づいた維持管理を着実に行うとともに、自然災害・老朽化による施設設備の突発的な不具合等に対し優先順位を整理しながら適切な予算執行により業務を遂行している。

ｂ 警備・美化清掃

・常駐の委託業者やスタッフと定期的な打ち合わせの場を設けて連絡体制を整え、来園者の安全確保と公園の景観維持につなげている。利用者アンケートでは、全体の満足度が昨年度と同数値の 83.5%となった中で、「手入れ」「整理整頓」「安全への配慮」「管理状態」などの項目において満足度が 90%以上と昨年度より高い数値となっており、適切に実施されている。

ｃ 設備の維持管理

・常駐の委託業者やスタッフとの密な連携構築と、担当者の細やかな管理により、設備の適切な維持管理につなげている。利用者アンケートでは、全８項目中６項目が利用者満足度 90%を超えている一方、「子どもへの配慮」が 70.6%、「高齢者・障害者への配慮」の項目においては 66.7%と比較的低い回答であることから、多様な来園者が安心して利用できるよう、配慮をお願いしたい。

(エ)施設の破損や災害等に対する対応

ａ 施設修繕への対応

・関係者間で施設の維持管理についての重要性を共有し、計画的な対応に努めている。また、突発的な損傷や不具合についても早急に協議を行い、修繕等対応を行った。

ｂ 災害・緊急時等への対応

・予期しない災害等に対応できるよう、専門知識を有する者の知見も取り入れ、計画に基づき適正に対応している。

(オ)職員・常駐業者の能力育成

ａ 施設の技術的な維持管理

・技術スタッフの研修派遣や園内での研修会などの実施により年間を通じて事故は発

生せず、舞台設備等の適切な維持管理が行われていると認められる。

ｂ 園地管理的な維持・管理業務

・職員は、施設利用者等のニーズを随時汲み取り、それを園地管理に適時的確に伝達する連絡・連携体制を構築している。

・常駐事業者は、県の要請を待つばかりではなく、定期点検等の結果に応じ、園地内の修繕・改良等の実施や提案を適切に行っている。

(カ)施設等の使用団体との調整

ａ 使用団体との調整

・県民月間での使用団体からの要望に対応できる体制を整え、技術スタッフの配置や観客交通手段の確保等に的確に対応し、県内演劇団体の活動に貢献した。

ｂ 使用団体の要望に対応する体制

・ＳＰＡＣの技術スタッフが舞台芸術公園の施設設備を操作し要望に対応するだけでなく、使用団体のスタッフの希望に応じ技術面での助言をするなど、次世代育成に繋がる対応が評価できる。

(キ)地域との連携

ａ 地域との連携

・地域のボランティアや高校生と協力して園地の景観を維持しているほか、学校の校外学習への協力や国際交流の拠点としての活用等、様々な団体との連携が進んだ。

・日本平の存する歴史・文化・観光・宿泊施設など、舞台芸術関係者以外とのさらなる連携が広がり、日本平地域全体の魅力が増すことにより公園の認知度も向上することに期待したい。